



2022年度 長谷エグループCSR行動計画

<自己評価基準> ☆☆☆計画を上回る進捗や成果 ☆☆計画通りの進捗や成果 ☆未達成,一部未達成

| 4つのCSR取り組みテーマ | 17の重点サブテーマ | 創業100周年(2037年) ありたい姿 | 2020-2024年度 長谷エグループの取り組み項目 | 指標 (KPI) / 目標数値 | 実績 | 2022年度の主な取り組み (ハイライト) | 自己評価 | 対象範囲 | | |
|---|-------------------------------------|---|--|--|---|---|--|--|----|-------------|
| <p>住んでいたい空間</p> <p>様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き生きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進するとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードにしていきます。</p> <p>■ 関連するSDGs目標</p>  | <p>安全・安心・快適</p> | <p>1 安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している</p> | ①品質の維持・向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷エプレミアムアフターサービス採用戸数 ・技術開発件数 | 0件 東：7,634戸(累計79,447戸) 西：3,750戸(累計33,169戸) 4件完了,5件継続中 | <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントシステムの継続・推進[長谷エコーポレーション・長谷エリフォーム・不二建設] ・長谷エコーポレーション品質方針を改訂(23/4/1以降運用) ・協力会社組織との連携活動「HASEKOバリューアップ活動」にて施工品質の維持・向上を促進 ・空気清浄機能・快適性を兼ね備えた汎用性のある全館空調システム「withairCUBE」を開発 ・複合乾式外装工法「RC×EX工法」を開発 ・長谷エリアルエステート仲介物件において充実した保証サービスを提供し住宅の資産価値維持・向上に寄与 ・長期優良住宅(戸建て)の展開[総合地所] ・定期点検における指摘項目をスマートフォンで申請する「PAS CALL(パスコール)」を採用[長谷エコーポレーション] | ☆☆ | 長谷エグループ | | |
| | | | ②マンション再生事業の推進 | 新規情報件数 | 11件(東西) | <ul style="list-style-type: none"> ・マンション再生(建替え・長寿命化)の総合提案と事業推進を実施 ・耐震化事業の推進(耐震診断・補強設計・補強工事他)[長谷エリフォーム] ・建替事業：熊本「アトラス熊本」推進中(MRオープン)[長谷エ不動産] ・リノベ再販の積極展開[総合地所・長谷エリアルエステート] | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 長谷エ長谷エリフォーム 長谷エ不動産 総合地所 長谷エリアルエステート | | |
| | | | ③再開発事業の推進 | 新規情報件数 | 8件(東西) | <ul style="list-style-type: none"> ・再開発事業8件取り組み推進中 | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 長谷エ不動産 | | |
| | | | ④ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・BIM&LIM(住まい情報と暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続 | 検証継続(ICTマンション8件稼働中) | <ul style="list-style-type: none"> ・顔認証システム・スマートロック・HEMS等を導入したICTマンションにて検証継続 | ☆☆ | 長谷エアネシス 長谷エ不動産 | | |
| | | | ⑤緊急時24時間対応できる仕組みの継続 | <ul style="list-style-type: none"> ・アウル24センター-警報受信件数,対応率100% | 49,438件,100% | <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの警報監視を24時間365日行う「長谷エコミュニティ アウル24センター」を継続運用 ・ジョイント・プロバティ管理物件において24時間コールセンターを継続運用 | ☆☆ | 長谷エコミュニティ ジョイント・プロバティ | | |
| | | | ⑥マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いマンション提案仕様 ルネ物件採用100% ・災害対策技術開発件数(地震(免振・制振・耐震)・台風等) ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率 | 100% 4件継続中 100%(年3回実施) | <ul style="list-style-type: none"> ・事業主・管理組合向けの防災・減災提案をブラッシュアップした「災害に強いマンション提案」継続展開 ・「災害時のトイレ使用マニュアル」作成の支援体制の構築完了 ・細田工務店にて地震や災害などの非常時の生活品質に役立つ設備5点を防災セットとして設定し提案を継続 ・管理マンション居住者向け防災意識向上オンラインイベント「おうち防災セミナー」実施 ・震災対策BCP訓練にて、地図システムを活用した物件被災状況一時確認訓練を実施 －施工中・管理・賃貸物件、シルバー施設、モデルルーム、仲介店舗にて実施 | ☆☆ | 長谷エグループ | | |
| | <p>多様なライフスタイル</p> | <p>3 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている</p> | ①社会ニーズに応える建物・サービスの提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニューノーマル対応件数 | 事業主提案実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト賃貸マンション:「PLAY」・「TRACK」の複数・地方展開。「WORVE」の推進。[長谷エ不動産] ・ICTマンションの推進、実証継続 ・Feel Residence (ICTマンション) シリーズの展開：関西第一号案件「学園東町P」竣工 ・非住宅事業推進：物流施設3件着工[総合地所] | ☆☆ | 長谷エグループ | | |
| | | | ②DX具現化に向けた取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み件数 | 43案件 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進委員会において各種WGを推進中 ・「イノベーションリーダー育成プログラム」を実施。※選抜メンバーを対象 | ☆☆ | 長谷エグループ | | |
| | | | ③超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設・住宅・サービス事業化件数 ・シニアライフ相談窓口対応件数 | 2件 0件 | <ul style="list-style-type: none"> ・24/3期 高齢者施設2棟開設予定 ・生活相談カウンター、シニアライフ相談窓口などを設置し対応 | ☆☆ | 長谷エシニアウェルデザイン | | |
| | | | <p>コミュニティ</p> | <p>4 保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している</p> | ①住宅を核とした複合開発の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み件数 | 1件継続中 | <ul style="list-style-type: none"> ・共創型レジデンス「コムレジ赤羽」事業推進中 －学生寮・シェア型企業寮・賃貸マンションの複合開発 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | | ②地方での事業展開推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・展開エリア数 | 7エリア | <ul style="list-style-type: none"> ・北海道・東北・北信越・中四国・東日本・九州・沖縄エリアにて事業展開を継続 ・プランシエラ高松 西の丸(香川第1号)、プランシエラ和歌山(和歌山第1号)、プランシエラ岡山(岡山単独事業第1号)等推進[長谷エ不動産] | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | | ③明日香村事業推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業推進件数 | 4件 | <ul style="list-style-type: none"> ・古民家事業推進中：宿泊施設「プランシエラ ヴィラ明日香」 ・明日香村と国立大学法人奈良女子大学及び長谷エコーポレーション三者による産官学連携協定継続推進中 | ☆☆ | 長谷エコーポレーション |
| <p>暮らしの環境配慮</p> | <p>7 住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になっている</p> | ④地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・マンション打ち水大作戦参加組合数 ・HCM管理物件でのイベント実施(100戸以上総合管理物件にて年1回) | コロナ禍により開催せず コロナ禍により開催せず | <ul style="list-style-type: none"> ・管理マンション居住者向け防災意識向上オンラインイベント「おうち防災セミナー」実施 ・エリアマネジメント組織「まちなね浜甲子園」に継続参画 ・「あるフォーラム」の運用・導入促進：2022年度竣工ルネブランド全物件で採用 ・ハウジング&コミュニティ財団による地域・コミュニティ分野関連団体への助成事業の実施 ・古民家再生：「ルネ市原八幡宿」入居者専用古民家再生シェア別荘『みなさと』[総合地所] | ☆☆ | 長谷エ管理ホールディングスG 長谷エコーポレーション 長谷エ不動産ホールディングスG ハウジング&コミュニティ財団 | | | |
| | | ①マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用 | <ul style="list-style-type: none"> ・集合ZEH事業採択件数 ・環境負荷低減技術開発件数 【長谷エコーポレーション】 ISO14001目標に基づく削減 ・CO2削減率10%以上(設計) ・環境配慮設計採用率 | 1件 4件継続中 東:19.8%,西:22.94% 東:97.6%,西:98.5% | <ul style="list-style-type: none"> ・住宅のゼロ・エネルギー化に向けZEH事業を積極展開 －集合ZEH事業1件採択 －長谷エ不動産・総合地所が「ZEHデベロッパ」、細田工務店が「ZEHビルダー」に登録継続 －2022年度以降の物件(自社開発分譲マンション・自社保有賃貸マンション)については、ZEH標準化[長谷エ不動産・総合地所] ・国内初既存社宅を全面改修しCO2排出量実質ゼロを目指す賃貸マンション「サステナプランシエ本行徳」着工、また当物件が「次世代住宅プロジェクト2022(国交省)」に採択 ・長谷エコーポレーション設計案件において計画毎に「環境配慮チェックシート」「CO2排出量算定シート」を活用し環境配慮設計を継続実施 ・「環境配慮アイテム集」を随時更新し、事業主様への提案を推進 ・細田工務店において長期優良住宅を建売住宅の標準仕様として採用 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |

2022年度 長谷エグループCSR行動計画

| 4つのCSR取り組みテーマ | 17の重点サブテーマ | 創業100周年（2037年）ありたい姿 | 2020-2024年度 長谷エグループの取り組み項目 | 指標（KPI）／目標数値 | 実績 | 2022年度の主な取り組み（ハイライト） | 自己評価 | 対象範囲 | |
|---|-------------------------|------------------------------------|---|-------------------------------------|---|--|---|--|---------------------------------|
| <p>働いていたい場所</p> <p>多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。</p> <p>● 関連するSDGs目標</p>  | <p>多様な人びとの活躍</p> | 8 | 多様な個性・価値観を認め合い、すべての社員がやりがいを持って、自分らしく活躍できる環境が整っている | ①働き方改革の推進 | ・MOSH活動の推進 ・テレワークの推進（在宅勤務等） | 計画通り実施 継続実施 | ・業務改革や生産性向上、過重労働防止に向けてグループ全体でMOSH活動を推進 －グループ統一ノー残業デー実施、部門・会社ごとの活動を推進、MOSHレポートによる周知啓蒙実施 ・建設現場における週休二日への取り組みとして、4週8開所実現に向けDXによる業務効率化を推進 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ②様々な職場での女性の登用と活躍支援 | ・女性管理職登用の促進 ・えるぼし認定取得 ・女性社員比率30%以上【長谷エコーポレーション】 ・新卒採用における女性比率30% | 女性管理職比率9.8% 未取得 30.5% 24.2% | ・長谷エコーポレーション各部門・グループ各社にて「女性社員交流会」を実施 ・社員参加型の社内ポータルサイト「みんなで作る 働いていたい場所」を公開・運営 ・各事業体による施策の実施 －長谷エコーポレーション建設部門女性所員研修会継続実施 ・長谷エリアルエステート独自の施策として、女性営業社員を対象としたキャリアプラン研修・管理職者を対象とした管理職者セミナーを実施 ・長谷エリフォーム独自の施策、ハセジョーキングの活動として、現場説明会の子供用動画作成や現場業務改善施策の検討を実施 | ☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ③育児・介護関連の支援制度の拡充と推進 | ・くるみん認定取得【長谷エコーポレーション】 ・配偶者出産休暇取得率80% ・育児休業取得率(男性)20% ・子ども休暇取得率(男性)50% | 未取得 44.0% 40.7% 45.4% | ・各種制度取得に向け社員・職場の意識醸成 －イクボス宣言・男性育児参画事例を社内報・社内ポータルサイト・パパママサポート等で周知し取得促進 | ☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ④障がい者と共に働く職場の実現 | ・障がい者雇用率2.3% | 2.42% | ・障がい者向けサテライトオフィス(丸の内・三鷹・川越・南砂町・大阪)の活用、農園事業(船橋・柏)への参画による職域拡大を継続実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ⑤シニア人材の活躍に向けた支援 | ・60歳研修継続実施 ・定年再活用者数 | 8月実施 299名 | ・60歳到達社員に対して研修を実施(年1回) ・定年退職者を対象に、必要性に応じ有期雇用(契約・派遣)による再活用を実施 ・シニア層の活躍の場としてライフマネージャー(管理員)を採用 －60歳以上5,860名が活躍 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ⑥外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進 | ・体制整備 | 継続 | ・ハワイ・ベトナムでの海外事業において現地雇用を実施 ・ベトナム人介護スタッフ採用・教育 ・グループ各社、および協力会社にて外国人技能実習生の継続雇用 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | <p>労働環境・安全衛生</p> | 9 | すべての職場で安全で衛生的な労働環境を実現している | ①安全衛生管理体制の徹底 | ・死亡・重大事故災害ゼロ ・労働災害度数率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下 ・中央安全衛生委員会の開催 | ゼロ 0.28 0.00 年1回開催 | ・労働災害撲滅に向け「グループ安全衛生管理方針」「安全衛生管理計画」に基づく安全管理を徹底 ・新型コロナウイルス感染症予防対策の継続実施 －新型コロナウイルス対策マニュアル・顧客等対応マニュアルを制定運用、社内でのPCR検査体制整備 －グループ社員(とその家族)及び協力会社員の希望者へ職域接種を実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ②労働環境の整備 | ・コロナ対策継続推進 | 継続推進 | ・建設現場における安全意識の啓発活動継続実施 －安全パトロールによるリスク評価を継続実施 －「安全大会」「安全推進大会」「安全祈願祭」「安全体感教育」等を実施し安全意識を啓発 ・協力会社組織の継続推進による労働環境整備 ・労働組合による労働環境・労働条件改善に向けた活動を継続実施 ・新しい働き方の導入(新型コロナウイルスへの対応) －在宅勤務・時差出勤の導入、オンライン会議の活用、オフィス分散による三密回避等を継続実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ③健康経営の実践 | ・グループ健康経営推進委員会の開催 ・健康経営優良法人の認定取得 | 年1回開催 認定取得 | ・グループ健康経営推進委員会を開催 ・『健康経営優良法人(ホワイト500)』認定取得 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ④従業員の心身の健康増進 | ・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率45% ・ストレスチェック受検率100% | 100% 52.3% 97.2% | ・従業員・家族の健康相談・感染情報報告体制の整備 ・コロナ禍における従業員の健康増進施策「レッツエクサ!!!」に4,204名が参加 ・コロナ禍における従業員の健康増進施策(運動習慣支援)「LIVERUN オンラインチーム対抗駅伝」5月・10月に開催し延べ1,500名が参加 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| <p>人材育成・技術継承</p> | 11 | 業務効率化・生産性向上につながる先進技術活用をリードしている | ⑤DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による労働生産性向上 | ・業務改善施策件数 | 3件 | ・DX推進委員会において4つのWGを組成し推進体制を整備/オフィスにおけるDX活用推進 ・長谷エライブネットにて生産性向上を目指した基幹システム刷新プロジェクト「GOKURAKU-DXプロジェクト」を継続推進中 ・RFIDを用いた生産・配送情報の見える化「ArchTrace」構築完了。 ・清掃ロボット「HRXスーパース HIPPO」を開発。 ・作業所内環境センシングによる作業員健康管理システム構築を完了。 | ☆☆ | 長谷エグループ | |
| | | | 12 | 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多種多様な教育を実施している | ①自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり ②技術・スキルの継承 | 【長谷エコーポレーション】 ・自己学習支援「長谷エビジネスカレッジ」受講人数 | 1,397名 | ・年次別集合研修の実施、若手社員の側面支援策である「Be3(ピーキューブ)制度」を継続 ・「長谷エビジネスカレッジ」継続 *自律人材の輩出促進と多様なスキルの保有を目的とした自己学習支援策 ・DXアカデミー第2弾(グループ各社役職者より80名選抜)を実施。 ・各事業体(営業・管理・施工・設計・技術・グループ各社)の実務教育を実施 ・長谷エコーポレーションにて技能者の情報をICカードを通じて業界統一のルールでシステムに蓄積する「建設キャリアアップシステム」継続運用 ・先輩社員による若手社員への技術教育(TOSS,施工図演習等)実施 | ☆☆ |
| | 13 | 住まいと暮らしについて、子どもから大人まで広く学べる場を提供している | ③外部とのコミュニケーション強化 | ・長谷エマンションミュージアム来館者数 | 6,136名(累計15,517名) | ・長谷エマンションミュージアムにて「防災フェスタ」を開催 ・現場見学会・中高生企業訪問学習受け入れは新型コロナウイルス感染予防により開催せず | ☆☆ | 長谷エグループ | |
| | | | ④イベント等による啓蒙 | ・イベント件数,参加人数 | 2件,667名 | ・第15回住まいのデザインコンペティション開催 ・不二建設にて「建築学生ワークショップ宮島2022」にアドバイザー参画 | ☆☆ | 長谷エグループ | |
| | <p>サプライチェーン</p> | 14 | 協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している | ①協力会社との連携を強化・継続推進(バリューアップ活動の継続実施) | ・バリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催 | 開催 | ・協力会社組織(建栄会・住優会・建翔会・輝翔会・親和会)活動(安全管理の徹底等)継続推進 ・HASEKOバリューアップ活動にて「DX」「脱炭素」にスポットを当てた映像を作成し、協力会社組織向けにYouTube限定 | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム |
| | | | | ②協力会社との連携によるDX推進・施工自動化技術の開発 | ・開発テーマ数 | 3件完了 | ・協力会社と密に連携を取り、業務効率化を主としたデジタル活用を積極導入 ・BIMとデータベースによる情報化生産：施工図など紙媒体以外でのデジタル情報伝達による生産システムを検証中 ・労務省力化に向けたロボット開発・ICT技術の研究・技術開発：3件完了、4件継続中 | ☆☆ | 長谷エ管理ホールディングSG 不二建設 細田工務店 |
| ③協力会社におけるリスク対策 | | | | ・総会にて啓蒙活動を実施 | 実施(年1回開催) | ・継続推進中 | ☆☆ | | |

2022年度 長谷エグループCSR行動計画

| 4つのCSR取り組みテーマ | 17の重点サブテーマ | 創業100周年（2037年）ありたい姿 | 2020-2024年度 長谷エグループの取り組み項目 | 指標（KPI）／目標数値 | 実績 | 2022年度の主な取り組み（ハイライト） | 自己評価 | 対象範囲 | | | | |
|--|-----------------------------|---|--|-------------------------|---|---|--|--|---|---|----|---------------------------------|
| <p>大切にしたい風景</p> <p>住まいづくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切に現場・職場をつくっていきます。</p> <p>■ 関連するSDGs目標</p>  | <p>資源循環</p> | 15 | <p>全ての事業活動において、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を徹底して実践している</p> | ①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善 | ・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ | 0件 | ・環境マネジメントシステムの継続・推進[長谷エコーポレーション・長谷エリフォーム] | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム 不二建設 | | | |
| | | | | ②建設廃棄物の削減を促進 | ・外部表彰受賞件数 【長谷エコーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・混合廃棄物5kg/m ² 以下 ・混合廃棄物のリサイクル率80% | 2件 東:2.4kg/m ² ,西:3.1kg/m ² 東:91.8%,西:84.7% | ・HASEKO/バリューアップ活動・協力会社組織にて廃棄物の分別教育継続実施 ・BIMによる生産システムにより資材ロス削減を継続実施 ・建設廃棄物削減・資源再利用に向けた研究・技術開発：1件完了,3件継続中 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ③オフィス・建設作業所における3R拡大 | 【長谷エコーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・コピー用紙使用量2020年度の実績値以下 | 23/3期(22/4～23/2) 東:▲25%削減・西:▲18.7%削減 | ・主要会議にてペーパーレス化促進 ・ペットボトルキャップ回収活動を継続実施しCO ₂ 削減に寄与（オフィス・建設作業所より280,500個(561kg)回収＝CO ₂ 削減量1,767.2kg) | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | <p>エネルギー・CO2</p> | 16 | <p>全ての事業活動において、高いエネルギー効率と再生可能エネルギー活用率を実現する</p> | ①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善 | ・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ | 0件 | ・環境マネジメントシステムの継続・推進[長谷エコーポレーション・長谷エリフォーム] | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム 不二建設 |
| | | | | | | | ②気候変動対応方針に基づく対応の継続 | ・SBT目標に準ずる ※下記(16-④)参照 | ※同左 | ・「気候変動対応方針～ HASEKO ZERO-Emission～」に基づき、対応を進捗 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | | | | ③施工段階におけるCO ₂ の削減 | 【長谷エコーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・CO ₂ 排出量削減 発生原単位10.5t-CO ₂ /億円以下(施工活動) | 東:9.39t-CO ₂ /億円,西:7.71t-CO ₂ /億円 | ・一部作業所（6作業所）において、CO ₂ 削減につながる新規取り組み8項目の検証実施 － ①電動フォークリフト②ALC無溶接工法③天然ガス圧接④オフロード重機へのGTL燃料⑤パーティクルボートの利活用 ⑥木くずを利用したバイオマス発電⑦ユニットハウスでの太陽光発電⑧樹脂型枠 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | ④SBT目標の設定と削減取り組み | ・SBT目標（基準年度:2020年度） [Scope1+Scope2] 2030年度 ▲42%・2050年度 ▲100% [Scope3] 2030年度 ▲13%・2050年度 ▲37% | 削減取り組みを推進 | | | | ・SBT認定取得（2022年5月） ・環境配慮型コンクリート「H-BAコンクリート」が「住宅の品質確保の促進等に関する法律」における住宅性能表示基準に関する「特別評価方法認定」を取得。住宅性能表示を行うマンションへのH-BAコンクリートの採用が可能に ・再生可能エネルギーの導入 ・ZEH-M事業の推進 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | ⑤建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進 | 【長谷エコーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・電力使用量2020年度の実績値以下 | 23/3期(1Q～3Q) 東:▲8.3%削減,西:▲12.1%削減 | | | | ・建設作業所での身近な節電活動事例啓蒙 ・全社での省エネ活動の実施 － 夏季・冬季節電強化月間を設定,昼休み時間中の消灯実施 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | ⑥事業活動における太陽光や再生可能エネルギーの積極活用 | ・導入件数 | バイオマス発電157件 太陽光発電3件 | | | | ・木質廃棄物を利用したバイオマス発電電力を現場作業所（一部）にて継続使用 | ☆☆ | 長谷エコーポレーション | | | |
| | <p>汚染予防・周辺環境配慮</p> | 18 | <p>全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している</p> | ⑦生物多様性保全活動（長谷工の森林） | ・活動によるCO ₂ 削減の定量化 | 長谷工の森林（蓼科・白浜）にて森林整備活動実施 | ・コロナの影響もあり、3年ぶりに「長谷工の森林」森林整備活動開催 ・長野県森林CO ₂ 吸収量評価認証制度にて、「長谷工の森林」におけるCO ₂ 吸収量を1.92t-CO ₂ と認証 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ⑧集合住宅への木材活用 | ・建物主要構造部における木造活用採用件数 | 1件 | ・木造活用物件1件竣工：浦安当代島計画 ・長谷エテクニカルセンター音響実験棟にて、鉄骨造と木造のハイブリッド構造を採用 ・木質化実現に向けた研究・技術開発：3件継続中 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ①環境法規制等の遵守 | ・土壌、水質、粉塵等重大な汚染発生ゼロ | 0件 | ・有害物質・残存物の有無について事前調査を実施 ・アスベスト、水銀使用製品の適正処理実施 ・購入した土地における土壌調査および必要な際は土壌改良作業を実施 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ②生物多様性への配慮 | ・外部表彰受賞件数(ABINC認証含む) | 4件 | ・ABINC認証：1件取得/環境関連表彰：3件受賞 － ABINC認証 「プレミスト藤ヶ丘」 － 環境関連表彰 おおさか優良緑化賞<大阪府知事賞>JV新千里東町[長谷エコーポレーション]、カサレ ウエストゲートシティ[不二建設]、<奨励賞>グランドパレス平野[不二建設] ・長谷エコーポレーション設計案件において緑化によるCO ₂ 削減量の算定を継続実施 ・生物多様性保全活動を実施 － 東京グリーンシップ・アクション清瀬松山緑地保全活動,藤前干潟クリーン大作戦へ参加 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ③建設現場近隣住民への配慮 | バリューアップ活動にて啓蒙実施 | 実施 | ・騒音、振動、粉塵、排ガス等についての対策を継続実施 ・HASEKOバリューアップ活動CSR委員会にて各種活動を啓蒙 － 建設現場の仮囲いにデジタルサイネージの設置を実施 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |
| | | | | ④周辺環境配慮技術の開発 | ・技術開発件数 | 1件検討中 | ・建設現場周辺への騒音抑制に繋がる技術の検討 | ☆☆ | 長谷エグループ | | | |

2022年度 長谷エグループCSR行動計画

| 4つのCSR取り組みテーマ | 17の重点サブテーマ | 創業100周年（2037年）ありたい姿 | 2020-2024年度 長谷エグループの取り組み項目 | 指標（KPI）／目標数値 | 実績 | 2022年度の主な取り組み（ハイライト） | 自己評価 | 対象範囲 | |
|--|--|---------------------|---|-----------------------------------|--|--|---|---------------------------------|--|
| 信頼される組織風土 ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきます。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していきます。 | 企業倫理・法令遵守 | 19 | 品格のある会社として企業倫理・法令遵守が徹底されている | ①環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化 | ・リスク統括委員会開催 ・BCP継続運用(震災対応・感染症対策含む) ・内部監査カバー率 | 4回 継続運用 100% | ・「リスク予防活動」の推進 -リスク管理責任体制に基づき、リスクの洗い出しからリスクの評価、リスク対応計画の策定、リスク軽減策の実施、内部監査、報告までの一環した活動を実施 ・新型コロナウイルス感染予防対策の実施 -新型コロナウイルス対策マニュアル・顧客等対応マニュアルを継続運用、社内でのPCR検査体制整備 ・2022年度震災対策BCP訓練の実施：年1回実施 -グループ社員：社員・家族の安否確認、グループ関係物件の被災状況確認 -クライアント・協力会社：事業主、賃貸物件オーナー・マンション管理組合理事長を含めた安否・被災状況報告 ・「長谷エグループCSR調達ガイドライン（2021年10月策定）」、社内外への周知徹底継続 ・情報セキュリティ向上の観点から、ISMS認証を取得[長谷エライブネット] ・長谷エシニアホールディングスGにて高齢者施設運営継続のための勤務体制「応援隊活動」実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ②コンプライアンスの徹底 | ・コンプライアンスに関する講演会受講率 ・コンプライアンス対策委員会開催 ・eラーニング受講率100% | 100% 6回開催 100% | ・講演会については、eラーニングシステムを利用した動画配信形式で実施（3回実施） ①個人情報保護法研修会、②ハラスメント研修会、③内部統制・コーポレートガバナンスについて ・契約・派遣社員を含め全役職員を対象にコンプライアンスに関するeラーニング教育2回実施 ・契約・派遣社員を含む全従業員を対象に長谷エグループ「コンプライアンスブック」のアプリ配信・冊子配布 ・契約・派遣社員を含む全従業員を対象に「コンプライアンスガイドライン（公正で誠実な事業活動を行うための基本的な順守事項）」の同意取得。 ・内部通報相談制度を運用 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ③ガバナンス体制の強化 | ・取締役のうち社外取締役の占める割合1/3以上 | 38.5%（5名/13名） | ・取締役会の実効性評価アンケートを実施 ・取締役会の諮問機関として、指名報酬委員会を実施 ・経営者、監査役との意見交換会を実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | 人権尊重 | 20 | 人権尊重のための仕組みを確立し、実践している | ①人権方針の策定と人権デューデリジェンスの整備 | ・人権デューデリジェンスの推進 | 人権課題の特定 | ・「長谷エグループ人権方針」に基づき、人権デューデリジェンスを推進 ・外国人技能実習生に関するアンケートを、建設関連グループ各社協力会社にて実施[建栄会：長谷エコーポレーション][建翔会：不二建][住優会：長谷エリフォーム] | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | ②ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化 | ・全役職員を対象にハラスメント防止の内容を含むeラーニング教育を実施 ・コンプライアンス通信・長谷エグループコンプライアンスブックによる周知啓蒙を実施 | ☆☆ | | | |
| | 情報開示・対話の強化 | 21 | 多様なステークホルダーから得た情報を活かし、CSR経営を実現している | ①ステークホルダーとの対話の実施 | ・機関投資家・アナリスト・メディア・エンドユーザー等とのコミュニケーション活動 | 計212回実施 | ・定時株主総会実施 ・決算説明会(年2回実施)、決算後のネットカンファレンス(年4回実施) ・決算後にIRミーティング・ESG面談を実施 ・長谷エ総合研究所と長谷エアーベストから説明者を招き、マンション市場説明会を年2回実施 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | 22 | ステークホルダーに対し積極的な情報開示を行っている | ②ステークホルダーの課題認識や期待に応える情報開示の促進 | ・Webサイトの適時更新 ・報告書の定期発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上 | 随時更新実施 発行 向上 | ・ESG情報開示にも対応した統合報告書、Webサイト等での開示実施 ・各種調査・アンケート等対応実施 -ESG評価機関(FTSE・MSCI等)、東洋経済CSR調査、日経スマートワーク・SDGs経営調査 |
| | CSR教育・啓発 社会貢献活動推進 | 23 | 一人ひとりの社員の所属や階層に必要なCSR教育が実施され、CSR経営がなされている | ①計画的なCSR教育の実施などによる社内浸透施策や理解度調査の実施 | ・CSRに関する講演会受講率,受講者数 ・CSRに関するeラーニング受講率 100% | 80.1%、872名 99.46% | ・契約・派遣社員を含めた従業員を対象にCSReラーニングを実施（メインテーマ：「人権」について） | ☆☆ | 長谷エグループ |
| | | | | 24 | 地域の社会課題解決モデルを広く社会に提示している | ①明日香村における地域活性化への貢献 | ・イベント実施 | 実施 | ・企業版ふるさと納税を2018年より実施 ・「飛鳥ハーフマラソン2023」を3月に開催（特別協賛） ・貸農園「長谷工明日香コミュニティファーム」運営、イベント開催 |
| | | ②社会貢献活動を推進 | ・社会貢献活動参加人数 ・社会貢献活動方針策定 | | | 728名 継続 | ・子ども食堂への寄付を実施 -「長谷工明日香コミュニティファーム」にて収穫した野菜を奈良県内子ども食堂へ寄付[長谷エコーポレーション] -長谷エシステムズ「柏ファーム」「船橋ファーム」で生産した野菜を地域の子ども食堂へ寄付[長谷エシステムズ] ・This Is MECENAT2022に「長谷エマンションミュージアム」「明日香村」「長谷工住まいのデザインコンペティション」が認定 ・「故湯川秀樹博士旧宅」を京都大学に寄付 | ☆☆ | 長谷エグループ |
| 25 | 災害発生時の暮らしの復旧を支援している | ④災害支援体制と方針の検討・確立 | - | - | ・応急危険度判定士や自治体での防災ボランティア登録継続 | ☆☆ | 長谷エグループ | | |
| サプライチェーンマネジメント | 26 | CSR調達を実現している | ①CSR調達ガイドラインの運用 | ・アンケート調査実施 | アンケート調査実施 | ・長谷エグループCSR調達ガイドライン遵守状況に関するアンケートを、建設関連グループ各社協力会社にて実施[建栄会：長谷エコーポレーション][建翔会：不二建][住優会：長谷エリフォーム] | ☆☆ | 長谷エコーポレーション 不二建設 長谷エリフォーム | |

<長谷エグループのCSR取り組みと関連性の深いSDGs10目標>

